



犬とのふれあいで笑顔咲く

一般社団法人静岡県動物保護協会による動物ふれあい訪問が5月12日、特別養護老人ホーム灯光園で実施されました。

入居者に心の安らぎを与えることが目的で、同園入居者のうち12人がトイ・プードルや柴犬など5匹の犬とふれあいました。入居者は「動物と楽しい時間を過ごせた」と笑みをこぼしました。

◀犬とふれあい、リラックスした表情の入居者



御前崎や地球の環境を守る

御前崎小学校の4年生36人が5月22日、NPO法人Earth Communicationの川口眞矢代表と市役所職員を講師に招き、環境について学びました。

地球環境の現状を知り、未来の環境を守るためにできることを考え、環境保全に取り組む一歩にすることが目的。伊村颯真さん(大山区)は「電化製品によって消費電力が違うことを知りました」と話しました。

◀ワットチェッカーを使って電化製品の消費電力を調べる児童



小川 龜 さん100歳の祝い

6月1日に100歳の誕生日を迎えた小川 龜 さん(西側区)に、柳澤市長から祝い状や花束が贈られました。

手先が器用で縫い物が好きな 龜 さんは、若いころ着物を仕立てていました。几帳面な性格で、今でも丁寧に食器を洗い、洗濯物をきちんとたたみます。 龜 さんは「若くして戦死した2人の兄の分まで長生きします」と元気に話しました。

◀柳澤市長は「元気に長生きしてください」と話しました



模擬投票で仕組みを学ぼう

市選挙管理委員会の協力のもと、実際の選挙で使用される投票箱や記載台などの資材を使用した池新田高校生徒会選挙が、6月13日に実施されました。

若年層の選挙への理解や関心を高め、投票参加の促進が目的。同委員会の佐藤陽一郎委員長は、「現在は18歳で選挙権が与えられる。期日前投票なども利用し、家族で選挙に参加してほしい」と話しました。

◀自身の意思を反映させた投票用紙を投票する生徒



ぼくたちは小さな警察官!

菊川警察署は5月17日、池新田幼稚園の年長児28人を「ちびっこおまわりさん」に任命しました。

ちびっこおまわりさんは市内9園で結成され、園児が地域のおまわりさんとなり、家庭や地域で防犯や交通安全を呼びかけます。園児は「家の鍵をかける・安全運転をする・振り込め詐欺に注意する」の3つを呼びかけることを約束しました。

◀地域安全推進員らと一緒に敬礼ポーズをとる園児



緑のカーテンで温暖化防止

第一小学校の4年生108人が5月26日、つる性植物などで夏の強い日差しを防ぐ「緑のカーテン」の取り組みを実施しました。

緑のカーテンにより冷房器具の使用が控えられ、地球温暖化防止への効果が見込まれます。児童は、中部電力株式会社の社員や御前崎市花の会の会員とアサガオなどの苗を校内のプランターや花壇に植えました。

◀自分たちで植えたアサガオの成長を見守る児童



アカウミガメ初産卵を確認

薄原区と東町の海岸で6月6日早朝、アカウミガメの初産卵が確認されました。産卵跡を見つけたウミガメ保護監視員の澤部春市さん(広沢区)と福田伸次さん(東町)が、深さ50センチほどの地中からそれぞれ82個、105個の卵を掘り起こし、アカウミガメふ化場に移殖しました。2人は「今年は例年より少し遅い初産卵。やっと確認できてひと安心」と安堵しました。

◀地中から慎重に卵を掘り起こす福田保護監視員



大きく成長して戻ってきて

学校の伝統としてアカウミガメを飼育している御前崎小学校の4~6年生106人が6月15日、下岬海岸で子ガメ9頭を放流しました。

児童は、打ち寄せる波に押し戻される子ガメに「頑張れ」と声を掛けながら見守りました。横山朱里さん(大山区)は「毎日のお世話が日課だったから少しさびしい。海でも強く生きてほしい」と話しました。

◀「大きくなって御前崎に戻ってきてね」と見送る児童